

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

資料No.2-1

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
1	23	すこやか・ともしびまつり	「健康でふれあいのあるまちづくり」の実現のため、福祉施設や団体の活動紹介や作品・成果発表、参加体験コーナー等の実施を通し、広く市民に福祉と健康づくりの理解を呼びかけるイベントを開催	福祉総務課	【実績】 実行委員会にて実施 9月28日(土)、29日(日)実施 来場者数 21,000人 参加団体数 156団体 「ふれ愛コンサート」と同時開催 【評価】 参加団体・施設の交流と成果発表の場を提供することができた。また、今年度は社会福祉センタートモシアとアオーレ長岡での初の2会場開催で実施。昨年度より来場者が増加し、幅広い層の関心を集めることができ、より多くの人の福祉意識を啓発できた。
				健康課	
				社会福祉協議会	
2	23	ともしび運動ポスター展	小学3年生から中学生を対象に「ともしび運動」に関するポスターを募集 入賞作品はコミュニティセンターや学校等に巡回展示するとともに、ともしび運動リーフレットやポスターに活用	福祉総務課	【実績】 H19年度から支所地域にも募集 応募点数 小学生747点、中学生17点 学校やコミュニティセンター等12か所で入賞作品の巡回展示 【評価】 合計764点の応募があり、児童の福祉に対する理解と関心を高めることができた。
				社会福祉協議会	
3	23	ともしび運動リーフレット・ポスター作成	「ともに生きる社会」の啓発広報としてリーフレット及びポスターを作成・配布	福祉総務課	【実績】 リーフレット 9,500枚 ポスター 510枚 作成・配布 【評価】 市関係機関、学校、企業等に配布し、ともしび運動の普及・啓発に活用された。
				社会福祉協議会	

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
4	23	障害者理解促進講座	障害のある人に対する理解を深め、ともに生きる地域づくりを進めるための講座等を開催	福祉課	<p>【実績】 障害者理解促進講座 検討会 1回開催 10名 障害者理解促進講座 7回開催 368名</p> <p>【評価】 地域共生社会の実現に向けて、各地域の関係機関と連携しながら、地域住民への障害者理解の普及・啓発を促進できた。</p>
5	23	アール・ブリュット作品展	障害及び障害のある人の独創的な作品の展示を通じて、独自の感性や作者の日常・暮らしぶりを知ってもらうことで、障害や障害のある人への理解を深める機会を創出	福祉課	<p>【実績】 ・まちなか6施設で41点の作品を常設展示した。 ・大手通にフラッグ40本を掲示した。</p> <p>【評価】 今年度は国民文化祭、障害者芸術・文化祭の開催に合わせ、展示期間を延長し、文化祭を訪れた方にも鑑賞してもらい、市民の障害者理解を一層深めるものとした。</p>
6	25	家庭教育活動事業	幼児の保護者を対象に開設する家庭教育講座の中で、福祉についてのテーマにも取り組む	保育課	<p>【実績】 補助対象園 48園 (53回)</p> <p>【評価】 子育ての大切なポイント等を講座を通して保護者に認識してもらうことで、意識の醸成につながっている。</p>
7	25	福祉読本の作成配付	児童の福祉に対する理解を深め、「思いやり、助けあい」の心を育成するために、小学3年生を対象とした福祉読本を作成・配付	福祉総務課 社会福祉協議会	<p>【実績】 教師用 400冊 児童用 2,800冊 作成・配布 平成28年に全面改訂を行い配布した。8割以上の小学校が活用しており、児童が福祉に対する理解を深めるきっかけとなった。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
8	25	長岡市社会福祉協力校指定事業	小・中・高等学校及び総合支援学校を対象に体験学習の機会を提供することにより、福祉に対する理解と関心を高めるとともに「思いやりの心」を醸成	社会福祉協議会	<p>【実績】 小学校…56校 中学校…28校 特別支援学校…4校 高等学校…12校 高等専門学校…1校 壁新聞を年6回、実践集録を年1回発行した。</p> <p>【評価】 各校では、学校や地域の実態に即して福祉施設訪問や地域・学校の美化活動、世代間交流など、様々な福祉教育に取り組んでいる。小・中・高をとおし、発達段階に応じて意図的・計画的に福祉教育を実践することで、「おもいやりの心」が醸成されるとともに、「ともに生きる社会」の実現に向けた資質形成にもつながっている。</p>
9	25	福祉教育ライブラリー整備事業	特別支援教育や療育等福祉教育に関する書籍・ビデオ等を教育センター・視聴覚ライブラリーに整備し、有効活用	学校教育課	<p>【実績】（貸出状況） 視聴覚教材：21件 書籍：131件</p> <p>【評価】 特別支援教育や福祉教育に関する書籍（18冊）を整備するとともに、それらの視聴覚教材や書籍についての広報を行い、教職員等に貸し出すなど有効活用を図った。</p>
10	29	乳幼児健康診査事業	乳幼児期の各節目にすこやかな成長の確認と異常の早期発見・早期治療を図るとともに、基本的な生活習慣の確立に向けて育児相談を実施し子育てを支援	子ども・子育て課	乳幼児健康診査実施 ・4か月児健診 1,727人 ・5～7か月児乳児健康相談 1,666人 ・10か月児健診 1,803人 ・1歳6か月児健診 1,823人 ・3歳児健診 1,929人

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
11	29	健康診査事業及び後期高齢者健康診査事業	19～39歳及び後期高齢者を対象に、生活習慣病の早期発見を目指した健康診査を実施し、循環器疾患や糖尿病等に起因する障害状態になることを予防	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康診査 (19～39歳及び生活保護被保護者) 受診者数1,654人 受診率9.5% 後期高齢者健診 (後期高齢者医療制度加入者) 受診者数13,361人 受診率31.9% <p>【評価】 +K20 19～39歳及び生活保護被保護者の受診率は、増加した。後期高齢者健診においても、受診率は増加した。今後も継続した啓発や受診環境整備をして受診者を増やしていく必要がある。</p>
12	29	特定健診・特定保健指導等事業	40歳から74歳の医療保険加入者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導に取り組み、糖尿病等生活習慣病の有病者・予備群の減少を目指し、疾病に起因する障害状態を予防	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定健診 (40～74歳国保加入者) 受診者数15,639人 受診率34.1% 特定保健指導 (40～74歳国保加入者) 動機付け支援 利用者数 397人 利用率 34.3% 積極的支援 利用者数 60人 利用率 24.8% <p>【評価】 特定健診は、受診率がほぼ横ばいである。継続した啓発や受診環境整備をして受診者を今後も増やす必要がある。特定保健指導の利用率は増加したが、引き続き利用率向上対策を講じる必要がある。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
13	29	保健指導 健康教育 健康相談 訪問指導	市民を対象に保健指導を実施 ・健康教室を開催 ・個別に健康についての相談実施 ・健診受診者で医療機関に受診が必要な人への受診勧奨など	健康課	【実績】 ●健康教育 開催回数382回 延人数 11,270人 ●健康相談 ・総合健康相談 開催回数101回 相談延人員 911人 ●訪問指導 訪問指導人数3,806人 【評価】 ・健康教育では、生活習慣病予防のため自ら健康づくりができるように指導を行った。 ・健康相談では、健診結果や健康に関する悩み・心配ごとを解消できるよう相談に応じた。また必要時、医療機関や他の相談会、地区担当へ紹介した。 ・訪問指導では、おもに健診後未治療者、特定保健指導未利用者、生活習慣病治療中断者、特定健診未受診者、糖尿病性腎症重症化予防該当者について、受診勧奨や生活習慣の改善ができるよう支援を行った。
14	29	こころの健康づくり講演会 こころの健康づくり講座	ストレス・うつ病・アルコール依存症・自殺予防等こころの健康づくりに関する全市的講演会及び地域単位での講座の開催	健康課	【実績】 こころの講演会・こころの健康講座 開催回数18回 参加人数464人 【評価】 こころの健康づくり、障害のある人に対する理解の促進、地域共生社会を実現するため、今後も継続して実施をしていく。また、多くの市民から参加してもらえるよう、周知方法や実施方法にも工夫をしていく必要がある。また、どのようなテーマを設定するのかについても、地域の実情に合わせて検討をしていく必要がある。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
15	29	こころの健康相談	こころの不調、アルコール依存やうつ状態等悩みや生きづらさを抱えている人に対し、臨床心理士・保健師等が窓口・電話相談や個別相談会を実施するもの	健康課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●来所・電話相談 延2,860件 ●こころの相談会 開催回数48回 相談延人数86人 <p>【評価】</p> <p>来所、電話相談、相談会の実施により、こころの不安や悩みの軽減、受診につながった。</p>
16	31	精神障害者医療費助成	精神疾患の治療について、医療費自己負担の一部を助成	福祉課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 受給者数 3,310人 申請件数 34,587件 助成額 60,431千円 <p>【評価】</p> <p>受給者数が増加しているため、自立支援医療（精神通院）受給者への案内や市政だよりへの掲載による効果があったと考えられる。引き続き制度周知を図っていく。</p>
17	35	こども発達相談室の充実	早期相談体制の充実、関係機関との連携	子ども・子育て課	<p>【実績】</p> <p>相談延人数 2,357人</p> <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回相談専用日の設定により、保護者一人ひとりの不安や悩みに寄り添う相談支援により相談機関としての機能は強化できた。 ・気軽に相談できる場として、子育ての駅等で出前相談会を実施することにより、早期に相談しやすい体制の整備をはかることができた。 ・就学時健診後の相談の流れについて、学校教育課・学務課と連携し、よりスムーズな相談対応を行うことができた。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
18	35	療育体制の整備	長岡市障害者自立支援協議会及び長岡市子ども・子育て会議の積極的な活用	福祉課	<p>【実績】</p> <p>○長岡市障害者自立支援協議会</p> <p>全体会 1回開催</p> <p>運営会議 8回開催</p> <p>相談体制部会 6回開催</p> <p>相談支援部会 8回開催</p> <p>ワーキング(計画相談) 6回開催</p> <p>【評価】</p> <p>協議会の各会議の中で、福祉分野と子育て分野の情報共有を実施したほか、療育も含めて適切な機関や福祉サービスにつなげるための相談支援体制について検討を行った。</p>
				子ども・子育て課	<p>平成29.30年度に子ども・子育て会議において提案をうけた発達に心配のある子どもの相談窓口やサービスをまとめた冊子「子どもの発達ガイドブック」を発行し、子育ての駅や市の窓口等に配布・市ホームページにも掲載した。</p>
19	35	特別な支援が必要な子どものサービスの充実	居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業の利用促進	福祉課	<p>【実績】</p> <p>居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業を継続して実施。</p> <p>【評価】</p> <p>居宅介護、短期入所、日中一時支援事業、放課後サポート事業ともに利用実績は前年度並みである。</p>
			児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援、居宅訪問型児童発達支援、障害児相談支援の利用促進	子ども・子育て課	<p>【実績】</p> <p>障害児通所支援及び障害児相談支援給付費等対象者延人数38,978人</p> <p>【評価】</p> <p>障害児通所支援事業に関するチラシの作成やホームページへの掲載、総合支援学校における保護者向けサービス説明会への参加等によりサービスの周知を図り、例年利用実績が伸びている。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
20	35	障害児保育の充実	保育園の入園を希望する特別な支援が必要な子どもの受け入れ体制の整備	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園、認定こども園への補助 特別児童扶養手当認定児童分 12人 9,024,000円 軽度障害児分 23人 13,832,500円 <p>【評価】</p> <p>保育園、認定こども園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>
21	35	私立幼稚園障害児教育費補助事業	幼稚園における特別な支援が必要な子どもの受け入れの推進	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園への補助 2園 784,000円 <p>【評価】</p> <p>幼稚園への入園を希望する障害のある子の受入体制を充実することができた。</p>
22	35	こどもすこやか応援事業	配慮を要する児童を早期に見出し、児童・保護者のニーズに応じた就学前から就学後まで一貫した相談・支援の実施	保育課	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援児童数 199人 ・すこやかファイル新規作成件数 104件 ・すこやかファイル年長児所持者数 99件 <p>【評価】</p> <p>保育園等と連携し配慮を要する児童への適切な対応について支援を行った。学校と情報を共有することでスムーズな就学への移行が行われた。</p>
23	38	特別支援学級教育環境整備事業	特別な教育ニーズに合わせた設備の整備及び教育の改良	教育施設課	<p>【実績】</p> <p>小学校5校及び中学校4校実施 (特別支援教室施設設備改修等)</p> <p>【評価】</p> <p>特別支援学級の教育環境の充実を図ることができた。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
24	38	肢体不自由特別支援学級設置校の移動設備整備	肢体不自由児童・生徒の移動のための設備の整備	教育総務課	<p>【実績】 階段昇降機の保有台数3校3台に対し、利用台数は小学校1校1台、中学校1校1台、計2校2台であった。</p> <p>【評価】 保有台数が利用台数を満たしていたので、階段昇降機を必要とする児童に適切な支援を行うことができた。</p>
25	38	長岡市立総合支援学校・高等総合支援学校放課後サポート事業	平日の授業終了後及び長期休業日に、総合支援学校の施設を利用して同校に在籍している児童・生徒の一時預かり	福祉課	<p>【実績】 支援学校在籍の児童・生徒を対象に平日の放課後及び長期休業日の日中の一時預かりを実施。 実施日数 225日、延べ利用者数 2,108人</p> <p>【評価】 重度の障害児が増えていることもあり、マンツーマン対応等の必要性が高まっている。</p>
26	41	障害者雇用促進事業	就労支援推進員が、施設・企業を訪問し、障害者一人ひとりの特性に合わせた企業とのマッチングを支援するとともに、企業に対して障害者雇用の促進を周知、啓発	産業支援課	<p>【実績】 訪問158社（うち支援機関へ連携83社）</p> <p>【評価】 企業に出向き話を聴くことで、適当な支援機関へ連携ができ、企業のニーズに合った障害者就労の支援ができた。</p>
27	41	長岡市障害者多数雇用事業者からの物品等の調達制度	市が物品購入や役務の提供などを契約する場合、障害者多数雇用事業者として登録されている事業者から積極的に調達	産業支援課	<p>【実績】 登録事業者数 8社</p> <p>【評価】 登録事業者は昨年同数。利用額は昨年度から微増。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
28	41	障害者雇用促進職場体験実習等受入事業	一般企業等への就労を目指す就労移行支援・就労継続支援施設利用者や障害者就業・生活支援センター登録者、高等総合支援学校の生徒を対象に事務作業や職業生活で求められるルールやマナーを体験実習する場を長岡市役所福祉課内に提供し、職業能力や社会性の向上を支援	福祉課	<p>【実績】</p> <p>市役所実習を希望するもので以下のいずれかに該当するものを対象に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の就労支援施設利用者 ・市内に住所を有する障がい者就業・生活支援センター登録者（手帳を所持していない発達障害者を含む） ・長岡市立高等総合支援学校生徒 <p>実施日数114日、延べ利用者数29人</p> <p>【評価】</p> <p>実習生に自らの課題点等に取り組み、事業所に戻ってからも継続して行うことにより、就労に向け前進してもらっている。実習方法を随時見直しながら事業を継続する。</p>
29	41	企業実習支援事業	職場体験実習の次のステップとして、障害のある人が企業実習をする際に、ジョブサポーター（実習を受け入れた企業に出向き、直接指導を行う者）を派遣してそのスキルアップを図るとともに、障害者雇用促進法の改正等による障害者雇用義務の強化への対応を迫られる企業に対して間接的に支援	福祉課	<p>【実績】</p> <p>実習先企業等 27件 実利用者 25人</p> <p>【評価】</p> <p>新たな実習先の利用を提案するなどニーズにマッチした実習機会を提供できるようにし、引き続き雇用促進職場体験等受入事業の利用者の次の目標となる事業として位置付けていく。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
30	43	相談サービスの充実	障害者相談支援センターによる相談の充実	福祉課	<p>【実績】 障害者相談支援事業所 6箇所 (相談支援専門員 11人、サポート職員 7人)</p> <p>【評価】 相談件数は減少したが、病院等からの地域移行や触法ケースなど、困難ケースの相談は引き続き増加する見込みである。今後も、市域全体の相談支援体制の充実に向けた体制整備を図っていく。</p>
			障害者基幹相談支援センターによる人材育成・相談支援専門員等へのサポート		<p>【実績】 相談支援研修会 3回開催 事例検討会 5回開催 気軽な勉強会 3回開催 相談支援専門員等へのサポート 408回実施</p> <p>【評価】 相談支援従事者のキャリアパスに基づいた研修会及び発言しやすい環境での勉強会を開催した。そのほか、対応困難事例に関わっている相談支援専門員等のサポートを行った。</p>
			「長岡市障害者自立支援協議会」の積極的な活用(相談支援体制の検討・評価)		<p>【実績】 ○長岡市障害者自立支援協議会 全体会 1回開催 運営会議 8回開催 相談体制部会 6回開催 相談支援部会 8回開催 ワーキング(計画相談) 6回開催</p> <p>【評価】 障害者相談支援事業の地区担当制導入後の状況確認や、相談支援体制全般について協議を行った。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
31	43	福祉窓口の充実	手続・申請内容の拡充	福祉課	<p>【実績】 H31年4月約360メニュー</p> <p>【評価】 対応業務数・対応件数は年々増加傾向にある。各種業務の制度拡充や多様化する状況等に合わせて窓口で受け付け体制を整えている。</p>
32	48	地域福祉・在宅福祉サービス事業（ボランティア銀行）	サービスを必要とする人を「利用会員」、サービスを提供する人を「協力会員」として活動する住民相互の助け合いの事業	社会福祉協議会	<p>【実績】 延べ利用者数：635人、総利用回数：2,053回</p> <p>【評価】 地域住民相互の支え合いにより、買い物代行などの生活支援を実施。活動を通じた助け合いの輪が広がっている。</p>
33	48	福祉送迎サービス事業	単独での移動が困難な高齢者や障害のある人等を対象に、医療機関へ自家用車による通院送迎を行う事業	社会福祉協議会	<p>【実績】 延べ利用者数：2,137人、年間総利用回数：2,136回</p> <p>【評価】 新たな利用会員、協力会員が増えた。住民同士の支えあい活動として、高齢者や障害者の通院送迎が展開された。</p>
34	48	小地域ネットワーク活動事業	おおむね75歳以上のひとり暮らし高齢者等で援助が必要と思われる人に対し、地域内の住民による定期的な訪問、声かけ等で見守りを行う事業	社会福祉協議会	<p>【実績】 対象世帯数：15,534世帯、利用世帯数：667世帯</p> <p>【評価】 訪問や見守りから「互いに気に掛ける」ということが地域に広がっており、課題の早期発見につながっている。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
35	50	ボランティア大学 ・基礎講座 ・公開講座講演会 ・介護講座 ・初心者講座 ・傾聴講座	ボランティア活動への意識啓発及び基礎的知識、技能の習得並びに、市民の意識高揚の推進	社会福祉協議会	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア大学基礎講座 開催回数11回、参加者数26人 ○ボランティア大学公開講座 開催回数1回、353人 ○初心者（フォローアップ）講座 開催回数26回、参加者数22人（内訳） <ul style="list-style-type: none"> ・点訳：8回、参加者数6人 ・要約筆記：4回、参加者数4人 ・音声訳：8回、参加者数5人 ・手話：6回、参加者数7人 ○傾聴講座 開催回数2回・6日、参加者数65人 <p>【評価】</p> <p>様々な角度からボランティア活動の基礎的な知識、技能を学ぶことで、福祉ボランティアに対する理解、実践力が深まるとともに、活動の幅が広がっている。</p>
36	50	運転ボランティアの参加啓発活動	福祉に貢献したい人たちに幅広い活動への意識醸成を図り、運転ボランティアにも目を向けてもらうための啓発を推進	福祉課	<p>社会福祉協議会においては、ボランティア大学を通じた活動や社協だよりへの記事の掲載などにより、啓発を実施している。（福祉課においては、運転ボランティアの協力により、重度身体障害者移動支援事業（ハート・カーの運行）を実施）</p> <p>【実績】 利用件数：720件</p> <p>【評価】 ハート・カーは例年と同様の運行件数となっている。継続的に運転ボランティアの募集に努めている。</p>
				社会福祉協議会	

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
37	50	ボランティアセンターの運営	総合的なボランティア情報の収集に努め、積極的に発信することで、ボランティアのマッチングを推進	福祉総務課	【実績】 相談件数：1,256件 【評価】 ボランティア推進に関する情報収集に努め、幅広く情報提供、相談対応することで、相談件数も増加している。
				社会福祉協議会	
37	50	ボランティアセンターの運営	ボランティアに関する教育・研修を実施し、ボランティアに携わる人材の育成や市民の意識醸成を推進	福祉総務課	【実績】 ○夏休み！おもちゃドクター親子体験講座 開催回数：1回、11組・21名 ○青少年ボランティア体験講座 開催回数：6回、161名 ○地域のスター養成セミナー紙芝居初心者講座 開催回数：4回、16名 ○地域のスター養成セミナーマジック初心者講座 開催回数：5回、15名 ○地域のスター養成セミナーバルーン者講座 開催回数：1回、13名 ○トークカフェ（ボランティアサロン） 開催回数：1回、11名 【評価】 幅広い世代の方々がボランティアに触れるきっかけとなり、市民のボランティアによる自己実現や社会参加の意欲が高まった。
				社会福祉協議会	
38	53	意思疎通支援者の派遣	手話奉仕員の養成と手話・要約筆記通訳者等の派遣の実施	福祉課	【実績】 手話通訳 583人 要約筆記 13人 【評価】 医療機関受診時の派遣が増加しているほか、社会参加の機会の増加に伴い就職・就学のための派遣件数も増加傾向にある。引き続き、手話・要約筆記による意思疎通支援を図っていく。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
39	53	手話通訳者の福祉窓口への配置	市役所における手話通訳者の常時配置	福祉課	<p>【実績】 設置日数240日 来庁者数498人</p> <p>【評価】 市役所での手続き支援のほか、日常生活上の相談も増えており、引き続き、手話通訳員を配置して気軽に相談できる体制を継続する。</p>
40	53	声の広報等発行事業	市政だより等の文書の概要を録音し、視覚障害のある人(希望者)に提供	福祉課	<p>【実績】 ・障害者ハンドブック「ともに生きる」の音声コード化と音声訳データでの情報提供を実施。 ・声の市政だよりの送付を行っている(R1送付対象者 69世帯)。</p> <p>【評価】 利用者数は昨年度と同数である。利便性向上を図るため、引き続き、音声による情報提供を図っていく。</p>
41	53	点字広報等発行事業	市が発送する通知分等を点訳し、視覚障害のある人(希望者)に提供	福祉課	<p>【実績】 市政だよりと同時に配布される文書について点訳を行い対象者に送付を行っている(R1送付対象者 9世帯)。</p> <p>【評価】 利用者数は昨年度と比べてやや減少したが、利便性向上を図るため、引き続き、点字による情報提供を図っていく。</p>
42	55	ハンディスポーツ・レクリエーション講習会	障害者スポーツ・レクリエーション活動の普及を図るため開催	福祉課	<p>【実績】 8月21日、28日に開催 参加者数 5人(延べ人数10人) 地域や施設などでの障害者スポーツの普及、人材育成を目的として実施している。</p> <p>【評価】 昨年度より参加者数が減少したが、指導者養成及び交流の場として、障害者スポーツの普及を図るため、今後も継続して行っていく。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
43	55	ふれ愛スポーツのつどい	障害のある人の社会参加と、市民の障害への理解促進を図るため、障害の有無にかかわらず誰もが気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションイベント「ふれ愛スポーツのつどい」を開催	福祉課	<p>【実績】 10月5日に開催 参加者数 18人</p> <p>【評価】 参加者は前年度と比べて減少したが、指導者養成及び交流の場として、障害のある人の社会参加と障害者スポーツの普及を図るため、今後も継続して行っていく。</p>
44	55	障害児者のための水泳教室・ハンディテニススクール	障害のある人の身体機能の向上を図るため、水泳・テニスの教室を開催	福祉課	<p>【実績】 水泳教室 6～7月の連続した週の土曜日に計5回開催。 参加者数 15人(延べ人数63人)</p> <p>ハンディテニス 10～11月の連続した週の水曜日に計5回開催。 参加者数 25人(延べ人数101人)</p> <p>【評価】 参加者及びその保護者からも好評である。健康増進や社会参加の機会として、今後も引き続き実施していく。</p>
45	55	ながおかポニーカーニバル	ポニーとのふれあいによる青少年の健全育成及び障害のある人となない人の交流の促進並びに乗馬による障害のある人の機能向上の機会の提供	青少年育成課 (※事業廃止当時)	事業廃止

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
46	55	障害者スポーツ競技力向上事業	障害者スポーツの活性化と競技水準の向上のため、全国に通じる選手の育成	スポーツ振興課	<p>【実績】 障害者スポーツの競技力向上及び普及・啓発のため、長岡聾学校、総合高等支援学校に指導者を派遣。市総合高等支援学校のパラ陸上選手の活動を市スポーツ協会と連携して支援した。</p> <p>○指導者派遣 ・長岡聾学校（卓球の部活動に20回派遣予定） ・市総合高等支援学校（授業に15回派遣予定）</p> <p>○障がい者アスリートの支援（松田将太郎） ジャパンパラ陸上競技大会・日本パラ陸上選手権大会100m優勝、世界パラ陸上競技ジュニア選手権大会日本代表</p> <p>【評価】 障害をもつ子どもにスポーツの楽しさに触れたり専門的指導を受けられる機会を提供し、継続的なスポーツ実施への意識づけが行えたことで、裾野拡大に寄与できた。競技活動を支援した選手が好成績を取めた。</p>
47	55	長岡市障害者スポーツ・レクリエーション協会(仮称)の設立	市民との協働による長岡市障害者スポーツ・レクリエーション協会設立の検討	スポーツ振興課	<p>【実績】 協会の設立を視野に、その土台づくりの一環として、市内企業などと連携し、市内で開催された各種イベントにパラスポーツ等の体験ブースを出展した。また、車いすバスケ女子日本代表候補が当市で強化合宿を行い、それに合わせて市内小学生を対象に車いすバスケ体験会を開催した。</p> <p>○24時間テレビ（ブース来客数：300人） 8月25日（日）、アオーレ長岡</p> <p>○すこやかともしびまつり（〃：250人） 9月28日（土）、アオーレ長岡</p> <p>○福祉・介護・健康フェア（〃：150人） 12月1日（日）、ハイブ長岡</p> <p>○車いすバスケ体験会（参加者：150人） 6月26日（水）、市民体育館</p> <p>【評価】 障害のある人がスポーツに親しめる機会、および市民の障がい者スポーツに対する理解を深めるきっかけを提供することができた。</p>

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
48	56	ふれ愛コンサート	コンサートを通して、障害のある人とな い人の「ふれあい」の場を提供し、障害 のある人の音楽文化の向上と社会参加を 実現	福祉課 社会福祉協議会	「すこやか・ともしびまつり」と同時開催 【評価】 昨年に比べ来場者数も増え、会場がひとつになって 盛り上がっている様子が見て取れた。今後も引き続 き開催する。
49	60	市有施設の新設整備	建築設計基準に基づいた障害のある人や 高齢者に配慮した市有施設の整備	各課施設	施設の設計時に配慮して整備
50	60	既存市有施設の改善	優先度が高い箇所から順次バリアフリー 化に取り組む	各課施設	施設の設計時に配慮して整備
51	60	町内公民館の施設改造費の補助	町内会が障害のある人や高齢者の利用を 考慮して行う既存の公民館、集会所の機 能・設備の改造に要する経費の一部補助	市民協働課	【実績】 ・町内公民館のトイレの洋式化等の改造に要する経 費の一部補助を行った。 R元年度交付件数 4件 【評価】 ・町内公民館等の利便性が向上した。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
52	60	公園の新設整備 既存公園の改善	障害のある人の利用に配慮した公園の新設整備 障害のある人への配慮が不十分な既存公園を更新計画時に併せて改善	公園緑地課	【実績】 ニュータウン運動公園に、身障者等が利用できるトイレを新設した。 【評価】 多くの市民が公園を利用することが可能になった。
53	61	住宅改造費の補助	個々の障害に対応した住宅の改造費補助	福祉課	【実績】 福祉課 住宅改造費助成件数2件 介護保険課 住宅改造費助成件数52件 【評価】 障害者及び高齢者の自立を支援するとともに、快適で安全な生活環境の改善を目的として引き続き実施していく。
				介護保険課	
54	64	バス停上屋の整備	公共公益施設等の周辺や乗り継ぎ拠点などの利用者の多いバス停の上屋整備 バス停の快適性、安全性を向上させるための上屋等の整備促進	交通政策課	【実績】 上屋設置補助金交付件数 2件 【評価】 町内会から申請のあった2箇所に対して補助金を交付し、バス待ち環境の改善が図られた。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
55	64	循環バスの運行	利用者の多い公共施設等と駅を結ぶ循環バスの運行	交通政策課	<p>【実績】 中央循環バス ・内回り11便、外回り10便運行 宮内・川崎環状線 ・宮内環状線 内回り6便 外回り6便 ・川崎環状線 内回り2便 外回り2便 ※土・日・祝日等は宮内環状線は3便運行 (川崎環状線は運行なし)</p> <p>【評価】 宮内環状線と川崎環状線をそれぞれ単独運行に変更し、利用者の利便性を向上させた。</p>
56	64	バス車両の改善	障害のある人、高齢者等が利用しやすいバス車両の導入促進	交通政策課	<p>【実績】 低床バス導入台数 7台 (内、市補助0台、交通事業者購入7台) R元年末現在：長岡駅乗入台数163台中94台が低床バス(55.8%)</p> <p>【評価】 「長岡市交通バリアフリー基本構想」に基づき、長岡駅乗入台数の20~25%を低床化バスとするバリアフリー化整備目標が既に達成され、さらに増加している。</p>
57	64	歩行者優先道路の整備	障害のある人、高齢者等にやさしい道路として、車の進入を規制し、カラー舗装やベンチ、植栽等を整備した歩行者優先道路の整備	道路建設課	<p>【実績】 自転車歩行者専用道路整備 L=20.0m W=4.0m 街路樹植栽</p> <p>【評価】 計画的に整備している。</p>
58	64	バリアフリー化した歩道整備	障害のある人、高齢者等歩行者の安全確保を図るためのネットワーク化した歩道整備	道路建設課	H22年度で事業は終了しているが、歩道整備の必要性があれば対応する。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
59	67	避難支援プランの推進	避難行動要支援者避難支援プランに基づく個々の避難行動要支援者に対する具体的な支援体制の推進 ・避難行動要支援者名簿の作成 ・町内会、自主防災会、民生委員・児童委員、地区福祉会等地域の関係機関等との情報の共有	福祉総務課	令和元年度避難行動要支援者名簿を作成し、地域の関係機関等と情報共有をした。
60	67	緊急告知FMラジオの配備	緊急時には自動的に電源が入り、避難情報等を伝達できる緊急告知FMラジオを町内会、民生委員・児童委員、福祉施設、避難行動要支援者等へ配備	危機管理防災本部	【実績】 希望があった避難行動要支援者に対して、ラジオを貸与した。(新規貸与数 257台) また、市が貸与したラジオの故障や不具合に対する交換対応等を実施した。 【評価見込】 町内会や避難行動要支援者等に対して、避難情報など災害時の情報伝達が可能となった。
61	67	地域防災力の強化推進	「市民防災のしおり」、「洪水ハザードマップ」、「自主防災会結成と活動の手引き」等の配布や中越市民防災安全士の養成等による地域防災力強化の推進	危機管理防災本部	【実績】 転入者に対して「長岡市の避難所」等の冊子を配布し、また、出前講座等の際に「洪水ハザードマップ」等、防災に関する資料を配布し、防災意識の高揚を図った。 自主防災会結成率 91.38%、中越市民防災安全士 680人 (令和2年3月1日現在) 【評価見込】 住民の防災意識が高まり、地域防災力の向上につながった。
62	67	中越市民防災安全大学	地域の防災リーダーの養成と防災安全知識の修得を目的に平成18年度に開講	危機管理防災本部	【実績】 8月下旬から9月上旬までの5日間に20講座を開催し 42名が中越市民防災安全士として認定された。 【評価】 地域の防災リーダーが育成され、地域防災力の向上につながった。

第5期長岡市障害者基本計画・障害福祉計画、第1期障害児福祉計画 令和元年度主要事業実施状況

整理番号	掲載ページ	事業名	事業概要	担当課(機関)	令和元年度実績等説明及び評価
63	67	高機能消防指令センターの充実	一般電話により高齢者、障害のある人等からの119番の通報場所が即時に判明でき、最も近い消防部隊を自動的に編成し、出動させるとともに、現場の地図及び避難行動要支援者の情報を把握	消防本部警防課	<p>【実績】 119番通報が無言でも、通報場所に消防車及び救急車を出動させている。</p> <p>【評価】 指令地図に通報場所のほか、避難行動要支援者情報を表示することで、対象者への災害対応がより迅速になった。</p>
64	67	木造住宅耐震診断費助成	木造住宅に対する耐震診断費の助成	建築・開発審査課	<p>【実績】 R1年度実績は48件であった。市政日より、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 H30年度に比べ件数が増加したので、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>
65	67	木造住宅耐震改修費助成	木造住宅の耐震改修工事費の助成	建築・開発審査課	<p>【実績】 R1年度実績は2件であった。市政日より、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 H30年度に比べ件数が減少したが、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>
66	67	木造住宅耐震改修設計及び工事監理費助成	木造住宅の耐震改修設計及び工事監理費の助成	建築・開発審査課	<p>【実績】 R1年度実績は2件であった。市政日より、リフォームフェア参加など周知活動を行った。</p> <p>【評価】 H30年度に比べ件数が減少したが、来年度以降も制度を周知し、住まいの耐震化を進めていきたい。</p>